

臼杵津久見警察署協議会

第1回会議の開催状況

第1 開催月日

令和4年6月3日（金）

第2 出席者

協議会 委員 8名

警察署 署長、副署長、調査官兼津久見幹部交番所長、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域交通課長、刑事課長、警備課長 9名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・警察署協議会設置の経緯と趣旨
- ・管内の治安概況
- ・本年の業務重点推進状況及び速度取締り指針
- ・今後の協議会の開催計画

について説明がなされた。

2 警察署協議会への諮問事項について

警察署から令和4年度の諮問事項「安全・安心な街づくり方策について」が示され、「総合的な犯罪抑止、子供・女性・高齢者の安全確保、交通死亡事故・重傷事故の抑止等について協議会の意見をいただきたい」旨の説明がなされた。

3 主な意見等

(1) 児童虐待について

委員から「児童虐待の事件が増えている原因について」の意見がなされ、警察署から「令和2年から増加傾向にある。コロナの影響との報道もあるが、様々な要因が重なり増えているものと思われる」旨の説明がなされた。

また、他の委員から「令和4年に発生した児童虐待のその後のサポートについて」の意見がなされ、警察署から「相談を受けるだけでなく、児童相談所、市と連携して被害児童のその後のサポートを行っている」、「学校が認知した場合は、警察若しくは児童相談所に連絡があり、各関係機関が連携してサポートにあっている」旨の説明がなされた。

(2) 高齢者事故について

委員から「高齢者が第1当事者となった交通事故について、高齢者の免許保有率と相関関係があるのか」、「免許返納の推進だけでなく、高齢者がより安全運転が出来るような取組はないのか」旨の質問がなされ、警察署から「第1当事者、第2当事者を含め、交通事故の当事者の高齢者割合は4割である」、「高齢者の免許の保有率が上がれば、高齢者に多く見られる身体機能の衰え、認知機能の低下により交通事故の件数は自ずと増えると思われる」、「警察は

免許返納の推進だけでなく、今後、高齢運転者がより安全に運転できるサポートカー限定の免許証の交付を始めた」旨の説明がなされた。

また、他の委員から「サポートカー限定免許の取得者を初心者マークのように視認できるような措置はあるのか」旨の質問がなされ、警察署から「今のところ、そのような措置はないものの、貴重な意見のため、今後の参考にしたい」旨の説明がなされた。

(3) 少年警察ボランティアについて

委員から「少年警察ボランティアは、地元の少年によるボランティア活動のことか」旨の質問がなされ、警察署から「仕事を退職された高齢の方を中心として、警察署長が委嘱している」旨の説明がなされた。

(4) 盗難事件に関して

委員から「2年前に自社で自転車とオートバイの盗難が連続発生し、いずれも部品を盗まれるものだった。今でも、犯人は捕まっていないが、同種の事案は発生しているのか」旨の質問がなされ、警察署から「本年、同種の事案（部品盗）の発生はない。津久見市内では自転車盗が2件発生している。有力な情報があれば提供していただきたい。防犯情報も発信していきたい」旨の説明がなされた。

(5) 特殊詐欺について

委員から「特殊詐欺事件が発生しているが犯人は捕まっているのか。詐取金は返ってくるのか」旨の質問がなされ、警察署から「特殊詐欺事件は、グループの実態が複雑多様で、仲間同士、顔も知らないといった特徴がある。犯人を捕まえても被害金が回復される見込みは極めて薄いことから、何よりもまず、騙されないための防止対策が重要と考えている」旨の説明がなされた。